

目 次

1	Ubuntu のバージョンアップ	2
1.1	Ubuntu19.10 から 20.04 へのアップグレードと, 20.04 の新規インストール作業	2

Ubuntu のバージョンアップ

廣野秀樹

2020.05.05

1 Ubuntu のバージョンアップ

1.1 Ubuntu19.10 から 20.04 へのアップグレードと、20.04 の新規インストール作業

:CATEGORIES: Linux,Ubuntu

アップグレードは夕方に始めたように思います。まずはじめにデータのバックアップ以外にほとんど起動することのないデスクトップの古いパソコンにインストールする作業を午後に始めました。しかし、DVD からインストールすることが出来ず、アップグレードを試みました。

インストールの ISO ファイルを DVD に書き込むことが出来ず、2 枚の DVD-R をだめにして、夕方に買い物ついでに宇出津新港のアルバの百均で 2 枚組の DVD-R と 1 枚の DVD-RW を買ってきたのですが、これは外付けのプレーヤーに入れても認識をしませんでした。

買い物から戻ったのが 18 時を過ぎていて、買い物に出かける前に USB にインストールディスクを作成していたのですが、古いデスクトップパソコンの方は USB から起動することが出来ませんでした。数年前、本体のみをタダでもらったパソコンになります。

もともとデータのバックアップ用にサーバー専用機のような用途をしていたので、デスクトップのアプリや込み入ったライブラリー余り入れていないので、アップグレードが出来るのではないかと思います。調べてみました。

Ubuntu のシステムのアップグレードは 10 年以上前、羽咋市に住んでいた頃に 2,3 度やったことがあったのですが、ライブラリーのバージョンの違いなどで正常に動くことがなく、エラーの対処も多かったので、新規インストール以外はしなくなっていました。

百均に売っている DVD-R が古い DVD プレーヤーでは使えない時代となってしまいました。新しい外付けの DVD プレーヤーを買うという方法もありますが、OS のインストールではシステムの最初の起動時にハードディスクや SSD 以外から BOOT が出来なければなりません。

普通に考えて、USB からブートできるのであれば、USB 接続の DVD プレーヤーからブートできる可能性はありそうですが、USB からブートできないことを確認したパソコンになるので、できる見込みはありません。

アップグレードが成功した時間のことは憶えていないのですが、昨日の午後から夕方遅くに掛け、4,5 時間はその作業に時間を使ったように思います。アップグレードでは MySQL のインストールや設定がうまくいかず、それにもかなり時間を掛けていました。

あとで Ubuntu20.04 の新規インストールをした時は、余り問題が起きなかったのですが、アップグレードの場合は、ネットで調べながらけっこう面倒な作業を行いました。MySQL のバージョンが上がったため、他にもコマンドの書式に変更点があったようです。

» Ubuntu 20.04 MySQL - Google 検索 <https://t.co/gVGMo1OIIF>

» Ubuntu 20.04 に MySQL 8.0 をインストール (OS 標準) - Qiita <https://t.co/SdV1RDvlks>

» Linux ディストリビューション「Ubuntu 20.04 LTS」リリース、2年ぶりの長期サポート版 - クラウド Watch <https://t.co/gQEmt3K3mw>

あらためて調べても、MySQL のバージョンアップは情報が乏しく関心も少ないようですが、バージョンが 8 になって処理速度が 2 倍になったという話がありました。確かに処理速度は早くなったような実感があります。

python のデフォルトが 2 系から 3 系になるという話は前に見かけていたのですが、MySQL のバージョンアップは情報を見かけることがなく、今調べてもごくわずかな情報です。データベースの移行もうまくはあったのですが、すんなりとはいかず、色々やっていました。

今回、Ubuntu20.04 の新規インストールをしたのはメインで使っているデスクトップパソコンですが、19.04 で使っていたパーティションを初期化するかたちでインストールしました。昨日までメインで使っていた 18.04 は、そのまま残っています。

18.04 をインストールしていたのは 2.5 インチの 100GB ほどの SSD で、値段も 3 千円より安かったかもしれませんが。Amazon で購入しました。移行した 20.04 の Ubuntu に問題がなければ、ノートパソコンに取り付け、そちらにも 20.04 の新規インストールを考えています。

ここ数年、Ubuntu のバージョンアップにトラブルは少なくなっているのですが、今回も思わぬところで不具合が出たり対処を迫られてました。のんびりやっていたのですが、午前 4 時半ぐらいまで、その後の設定作業などをやっていました。

今朝になって気がついたのですが、Emacs でも多少の不具合があって、その 1 つがフォントの大きさになります。フォントの設定はネットで探してもいくつかの方法があるのですが、設定が通用する場合としない場合があって、今回もやや不満を残したままの状態となっています。

単純に日本語のフォントサイズが大きくなったのですが、設定で改善はみられるものの、なぜか空行の幅が大きいのです。なぜか、フォントを変更するメニューも出てきません。Emacs のインストールが不完全なのかもしれません。

Ubuntu のバージョンアップは一年に 2 回あって、4 月と 10 月になります。今回は 2020 年 4 月を意味する 20.04 というバージョンです。今回は LTS ということでサポート期間の長いバージョンです。

19.10 もインストールした環境があったのですが、19.04 ではサポート切れでアップデートが出来ない状態となっていました。長年、Ubuntu を使ってきましたが、これは 19.04 が初めてのことでした。

以前は、半年に 1 回、Ubuntu の新規インストールを決まって行っていたのですが、昨年あたりから 18.04 の LTS をそのまま使い続けるようにもなっていました。なにかとトラブルも起こり、時間と手間の掛かる作業になりますが、繰り返し学ぶ、勉強の機会ともなります。

Ubuntu などの Linux の場合、Windows パソコンのようにインストールディスクに使うということではなく、インターネット接続の環境さえあれば、いつでもインストールや更新が出来る仕組みとなっています。